

## 2010年度環境会計

【集計範囲】(株)モスフードサービス(本社、事務所及び直営店) 【対象期間】2010年4月1日～2011年3月31日

【参考】環境省環境会計ガイドライン(2005年版)

2010年度は、照明及び看板などを一部店舗でLED化するなど省エネ対策に努めましたが、猛暑の影響により、直営店での電気使用量が増加してしまいました。その他には、倉庫での在庫調整に努めた結果、倉庫での廃棄物処理量が大幅に削減され、結果として経費抑制につながりました。

### 環境保全コスト

単位:千円

分類	主な取組み内容	投資額	費用額	増減額(前年比較)		
				投資額	費用額	
① 事業エリア内コスト		33,369	92,747	12,885	▲ 9,473	
内訳	①-1 公害防止コスト	排水設備投資 下水道料金の支払	17,638	53,139	▲ 2,846	1,240
	①-2 地球環境保全コスト	空調機・LED照明設備投資 省電力機器保守	15,731	3,153	15,731	▲ 5,949
	①-3 資源循環コスト	事業系廃棄物のリサイクル及び廃棄処理	0	36,455	0	▲ 4,762
② 上・下流コスト	容器包装リサイクル協会費用	0	2,117	0	▲ 30	
③ 管理活動コスト	環境マネジメントシステムの運用・教育・環境情報の開示	0	64,179	0	332	
④ 研究開発コスト	実験店舗減価償却費	0	3,083	▲ 8,683	2,172	
⑤ 社会活動コスト	コミュニケーション・社会貢献活動	0	5,061	0	▲ 366	
合計		33,369	167,187	4,203	▲ 7,363	

(株)モスフードサービス(単体)決算数値 (2010年度)

投資額の総額	566,136	千円
研究開発費の総額※注1	49,905	千円

※注1:環境保全コストの「④研究開発コスト」は含んでおりません。

### 環境保全効果および経済効果

環境保全効果の分類	環境保全効果を表す指標					経済効果 (前年比較) 単位:千円
	項目	単位	2009年度	2010年度	削減量 (前年比較)	
①事業活動に投入する資源に関する効果	電気使用量〔本社・事務所〕	* 千kWh	436	430	6	109
	電気使用量〔直営店〕	* 千kWh	8,474	8,827	▲ 353	▲ 6,210
	都市ガス使用量〔本社・事務所〕	* 千m <sup>3</sup>	2	2	0	▲ 2
	都市ガス使用量〔直営店〕	* 千m <sup>3</sup>	244	255	▲ 11	▲ 1,255
	LPガス使用量〔直営店〕	* 千m <sup>3</sup>	55	53	2	408
	水道使用量〔本社・事務所〕	千m <sup>3</sup>	1	1	0	▲ 6
	水道使用量〔直営店〕	千m <sup>3</sup>	92	88	4	1,956
	空調エネルギー(本社)	* GJ	1,946	2,063	▲ 117	446
	コピー用紙使用量〔本社・事務所〕	千枚	1,781	1,825	▲ 44	31
	CO2排出量(*を換算)	t-CO <sub>2</sub>	4,889	4,720	▲ 169	—
②事業活動から排出する環境負荷及び廃棄物に関する効果	事業系一般廃棄物〔本社・事務所〕	t	10	7	3	1,119
	倉庫廃棄物処分	t	248	158	91	3,613
経済効果合計						209

参考: 今回の東日本大震災における廃棄物量は、津波によって壊滅した仙台倉庫と地震の被害を受けた東京倉庫等を合わせて276t、127,895千円(在庫ロス金額)となっております(2010年度計上分のみ)。尚、これらは2010年環境保全コスト、環境保全効果、経済効果には含まれておりません。

#### <CO2換算係数>

改正省エネ法の換算係数を元に作成しています。

電気: (2009年度): 電力各社発表の2008年度、調整前の係数 (2010年度): 電力各社発表の2009年度、調整前の係数

ガス: 都市ガス(2009・2010年度) 2.23kg-CO<sub>2</sub>/m<sup>3</sup>

: LPガス(2009・2010年度) 3.00kg-CO<sub>2</sub>/kg \* 重量換算0.502千m<sup>3</sup>/t \* 単位発熱量(2009・2010年度) 50.8MJ/kg

環境会計作成にあたって

- ・削減量、経済効果ともに▲は増加量、費用増加額を表しています。
- ・複合コストの計上は簡便な基準による按分集計を採用しています。